

東名病院だより Vol. 18

東名病院ホームページアドレス・メールアドレス
http://www.med-junseikai.or.jp/tomei/index.html
e-mail tomei-hosp@med-junseikai.or.jp

第68号
2018.1月発行

東名病院発行 / 〒480-1153 愛知県長久手市作田一丁目 1 1 1 0
T E L (0561)62-7511(代) F A X (0561)62-2773



平成30年となり、この冬は厳しい寒さになっています。ラニーニャ現象で2014年の冬と同じように、厳冬で雪が多いそうです。寒さに伴ってインフルエンザも流行しています。日本を含む温帯より緯度の高い地域では冬に流行しますが、熱帯、亜熱帯地域では雨季にインフルエンザが流行します。日本では室内湿度を50%以上にしておけば感染拡大は防げるとも言われていますが、あらゆる病気の蔓延の要因は一つだけでは無いのでしょうか。沖縄出身の方に聞きますと四季に余り関係なく夏場でもインフルエンザはダラダラと発生していたそうです。2018年の第1週の定点当たりの患者数は宮崎県、沖縄県、大分県と続き西日本に多く認められています。例年はA型インフルエンザが先行して流行し、その後B型が発生しました。今年はA型、B型が混在して発症しているように思います。当院ではインフルエンザテストで、A、B型が一人の患者さんで同時に陽性に検出された症例もありました。昨シーズンも通常先行するA型インフルエンザの流行がほぼ1ヶ月遅れであったので、今年と同じ様にA、B両型の混在感染の様子でした。ウイルス自体の変異やワクチンの有効性の変化に加えて、社会状況（高齢化など）様々な要因が関与していると思われます。

お正月のテレビ番組（主にEテレ）で日頃見ない能楽や歌舞伎の舞台を映しています。約400年の歴史を持つ歌舞伎は、他の芸能を取り入れる柔軟さ、懐の深さを持っています。長唄「鷺娘」の舞踊などはクラシックバレエの趣さえあります。

「淡雪や舞ひ納めたるごとく止み」（鷹羽狩行）

院長 大塚 光二郎

皮膚についてのおはなし

皮膚科 吉田 真紀子

フケでお困りではありませんか？

フケは頭皮の皮膚炎です！

乳幼児と思春期以降で好発します。

皮脂中のトリグリセリドが皮膚常在菌によって分解され、その分解産物である遊離脂肪酸が皮膚に刺激を与えることによって出現します。カビの一種であるマラセチアも悪化因子として注目されています。

治療は石鹸やシャンプーを用いた適切な洗浄により脂漏部を清潔に保ち、外用剤を使用することが基本となります。

ただそれだけでは再発しやすいため、生活リズムを整えたり、ビタミンなどの栄養を取ったりなども重要です。また抗真菌剤の外用や抗真菌剤を含んだシャンプーが効果的であると言われています。

当院ではパンフレットやシャンプーのサンプルなどもご用意しております。お気軽にご相談ください。



顔や体のシミ、時に皮膚がんのことがあります

30代後半から徐々に出現する皮膚のシミ。

日光によるシミがほとんどですが、時に皮膚がんであることがあります。テレビなどでも時々紹介されるほくろのがん（メラノーマ）はみなさん耳にされたことがあると思います。ほくろとガンの簡単な鑑別法についてご紹介したいと思います。

ほくろに以下の状態が一つでもあれば、心配ですので一度受診をされてください。

ポイント

- | | |
|---------------------------|--------------|
| A Asymmetry | 左右非対称 |
| B Borderline irregularity | 境界不鮮明 |
| C Color Variegation | 色調多彩 |
| D Diameter enlargement | 拡大傾向 直径6mm以上 |
| E Elevation of surface | 表面隆起 |



御嶽 五の池小屋

放射線科 前田 優

2014年9月27日11時52分、御嶽山が噴火しました、死者58名、行方不明5名の大惨事となりました。

わたしはこの日、石川県にある白山に登っていました。翌日に別山に登るために南竜ヶ馬場の山小屋に宿泊していました。食後のテレビで第一報を聞きました。しかしこんな大惨事になっているとは思いませんでした。それ以来、御嶽の噴煙を見ることはあっても登ることはありませんでした。いままで王滝口から2回、中ノ湯から1回、濁河から1回のぼっていました。

今回登ったところは、御嶽の山小屋の中で最も北に位置する小屋で、飛騨側登山口9合目にあります。

8月13日午前6時15分に家を出発、午前9時30分に濁河温泉登山口着、駐車場が一杯でうろうろしていたら、おじさんが手招きするので付いていくと、宿の駐車場に案内してくれました。駐車代金を払おうとすると、下山後に温泉に入ってくれればいいとの事で、お願いしました。

五の池小屋



午前10時出発、御嶽神社里宮を右に見て樹林帯にはいります。すぐに仙人滝、原生林の中、割り木を横に敷き詰めた登山道は、とても歩きやすい。ジョーズ岩、湯の花峠2,100m、のぞき岩、おたすけ水、八合目の先でハイマツ帯、視界がひらけます。ガスのなかわずかに、魔利支天山がみえます。雷鳥岩、もうすこしで五の池小屋です。後ろを登ると飛騨頂上2,811mです。残念ながらガスのため眺望はありません。剣が峰の見える三の池の近くに行き、手を合わせます。ここまで休憩、昼食を入れて4時間です。

午後2時に小屋に着きました。さっそく受け付けをします。大人一泊二食付き9,500円です。部屋は、新館の1F上下二段式の部屋の1Fです。荷物を解いて、生ビール片手にペランダに出て魔利支天山に乾杯です。残念ながら山頂はガスのなかです。老若男女、子供いろんな人が登ってきます。夕食までのんびりします。夕方には少しガスも晴れてきました。夕食は交代制です、ここは珍しくカフェぱんだ屋があり遅くまでお酒も飲めます。夜景と星が見たかったのですがここでも、またガスです。

翌日はまあまあの天気ですが、御来光は雲のためみえず。魔利支天山に登るつもりが、足の張りで継子山に変更、雲海の中高い山だけ良く見える、白山は雲に溺れそう。足元を見るとコマクサの群落、あとよく名前のしらない、花だらけ。朝食を食べて、ゆっくりしてから、下山します。久しぶりの山なので少し足が痛い、ゆっくり休憩しながら下ります。

駐車場に着き、温泉に入ります。ひなびたところがいい感じの宿です。温泉代500円のところ、1,000円払うととうもろこしをいただきました。

今度は御嶽山山頂、剣が峰まで行けるようになったら行きたいと思います。

剣が峰



白山雲海



コマクサ



海を渡る

医事課 恩田 由紀

今年1月に『広辞苑』が10年ぶりに改訂され、約1万語が追加されました。

私には、父が時折『広辞苑』を広げて何やら調べものをしているのを見た幼い頃の記憶があります。現在では何か調べるときには、私もパソコン・スマホで検索することが多くなりましたが、子供の頃に読書をしていて、わからない言葉が出てきた時は辞書を引きました。すると肝心の調べたい言葉よりも他の言葉が目飛び込んできて、新しい言葉を覚えたり、そこからまた別のわからない言葉が出てきて調べたりして、何が最初だったかわからなくなってしまったことを思い出します。もしかすると、父も私と同じようにネットサーフィンならぬ辞書サーフィンをしていたのかもしれない。

私の好きな本に、三浦しをんさんの『舟を編む』があります。とある出版社で新しい辞書を作ることになり、その完成に向けて編集者たちと老日本語学者が日々奮闘する姿が、登場人物の恋もからめて描かれている作品です。

三浦しをんさんは、2006年に『まほろ駅前多田便利軒』で、なんと29歳で直木賞を受賞した作家です。そして、この『舟を編む』は2012年に「本屋大賞」に選ばれました。「本屋大賞」は、書店員の投票で決定する賞で、書店員自身が自分で読んで「面白かった」「お客様にも勧めたい」「自分の店で売りたい」と思った本を選んで投票するものです。



ちなみに、題名の『舟を編む』の意味は、本文中でこのように説明されています。
「ひとは辞書という舟に乗り、暗い海面に浮かび上がる小さな光を集める。もっともふさわしい言葉で、正確に、思いをだれかに届けるために。もし辞書がなかったら、俺たちは茫漠とした大海原をまえにたたずむほかないだろう」、「海を渡るにふさわしい舟を編む」
父も私も言葉の大海原に辞書という舟で漕ぎ出し、辞書のおかげで波を楽しんでいたということになるのでしょう。

『広辞苑』改訂のニュースを聞いた後で久しぶりに『舟を編む』を読み直してみましたら、初めて読んだ時とは違う文章にひかれたり、編集者たちのやり取りが現実味を帯びて感じられたり、新鮮な気持ちで読むことができました。また『広辞苑』の改訂になぜ10年という歳月が必要だったのかも改めて実感できました。

2013年には松田龍平さん主演で映画化もされています。原作とは少々異なるストーリー展開ですので、ご興味のある方は映画と原作、それぞれを楽しむのも良いかもしれませんね。

なお、『広辞苑』最新の第7版は、140ページ増えたにもかかわらず、厚さは第6版と変わらないそうです。辞書の編纂をする編集者の方々の苦労も計り知れないものがあると思いますが、薄くて丈夫で印刷が透けにくい紙を開発する方々にもまた、私たちが思い及ばないようなドラマがあるのです。



外来担当医表

	午前 9:00 ~ 11:45	午後 18:00 ~ 20:00
月	外科・内科 大塚光二郎	神経内科 高橋正彦
	神経内科 高橋正彦	整形外科 浅井信之 (15:00 ~ 18:00)
	皮膚科 加藤徳子	
火	外科・内科 原川伊寿	外科・内科 原川伊寿
	脳神経外科 松尾直樹	
	神経内科 高橋正彦	
水	消化器 横山幸浩	外科 相場利貞
	脳脊髄外科 水野順一 *注1 (不定)	整形外科 第1.2.3.5週水曜 生田国大 (15:00 ~ 18:00)
	神経内科 高橋正彦 (10:00 ~)	整形外科 第4週水曜 酒井智久 (15:00 ~ 18:00)
木	外科・内科 原川伊寿	血管外科 折本有貴
	神経内科 高橋正彦	
	血管外科 折本有貴	多汗症外来 玉田康彦 *注2 第1木曜日 (13:30 ~ 14:30)
	循環器 水谷登 *	
金	外科・内科 大塚光二郎	外科・内科 大塚光二郎
	外科 循環器 担当医師 (10:00 ~)	
	神経内科 高橋正彦	
	皮膚科 吉田真紀子	
土	外科・内科 大塚光二郎	*印の医師は予約制です。 注1 脳脊髄外科水野医師の診察は、不定です。 注2 多汗症外来玉田医師の診察は毎月第1木曜日 13:30 ~ 14:30になります
	外科 循環器 担当医師	
	脳神経外科 渡部剛也 *	
	多汗症外来 吉岡洋 * (9:00 ~ 10:00)	

平成29年12月1日現在



名鉄バス時刻表 区間：藤が丘 猪ノ湫

藤が丘
猪ノ湫

藤が丘駅
名鉄バス
乗場から
「トヨタ博物館前」
または
「星ヶ丘」
「愛知学院大学前」
ゆき

時	平日	土曜
8	08.13.34.54	03.08.30.43
9	15.38.43	03.12.30.43
10	08.18.38.43	03.33.43
11	08.38.43	08.38.43
12	08.38.43	13.38.43
13	08.38.43	13.38.43
14	08.38.43	13.38.43
15	08.38.43	13.38.43
16	00.13.20.38 43	03.08.23.38 43
17	00.13.20.38 43	03.08.23.38 43
18	00.13.20.38 43	03.12.23.38 43
19	00.13.20.40 45	以降省略
20	以降省略	

猪ノ湫
藤が丘

当院前の道路を
西へ約200m
大久田東交差点
南側のバス停から
「藤が丘」
ゆき

時	平日	土曜
8	00.13.19.27 35.40.59	05.11.26.43 51
9	14.27.43.59	09.15.26.46
10	14.25.52	06.15.25.51
11	14.25.52	15.25.55
12	14.25.52	15.25.55
13	14.25.52	18.25.55
14	14.25.52	18.35
15	14.25.52	03.20.35
16	15.18.38.49	03.20.38.51
17	01.17.21.39 49.59	00.20.21.40. 51
18	18.22.42.53	00.20.21.47
19	16.21.43.51	以降省略
20	12.26.45	



西部循環線時刻表 <左回り> <右回り> 杵ヶ池公園駅発着

右回り

	2便	3便	4便	5便	6便	7便
杵ヶ池公園駅南口	8:19	10:19	12:19	14:49	16:49	18:59
熊田	8:21	10:21	12:21	14:51	16:51	19:01

左回り

1便は省略

	1便	2便	3便	4便	5便	6便
熊田	8:33	10:33	12:33	14:33	16:13	18:13
杵ヶ池公園駅北口	8:37	10:37	12:37	14:37	16:17	18:17

7便は省略

藤が丘線時刻表 市役所 市役所

藤が丘から2番目が
「仲作田公園」です

	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便
藤が丘	9:25	11:25	13:25	15:25	16:25	17:25	18:25
塚田西	9:27	11:27	13:27	15:27	16:27	17:27	18:27
仲作田公園	9:28	11:28	13:28	15:28	16:28	17:28	18:28

8便は省略

医療法人橋会 東名病院
〒480-1153 愛知県長久手市作田一丁目1110
TEL (0561)62-7511(代) FAX (0561)62-2773